

- ◆企画名 書道教室
日 程 平成 26 年 4 月 21 日 (月)
場 所 新関西大学会館南棟 3 階 国際部多目的室
参加者数 20 名 (ピア・サポータ 10 名、留学生 7 名、日本人学生 3 名)
目 的

留学生に日本の貴重な文化の一つである書道を体験してもらい、書道を通じて日本人学生との交流をはかること。

内 容

初めに同じグループになった人と親睦を深めてもらうために、アイスブレイクとして「嘘当てゲーム」というゲームをしました。遊び方は、1人3つ言うことを決めてもらい、その中に1つ嘘を交えてもらうことで、他のメンバーに当ててもらおうというものでした。



実際に書いてもらう前に、書道の道具の説明や、書道の歴史の紹介をしました。

その後、ウォーミングアップとして、自分の名前を書いて練習してもらいました。それと平行して、最後に班のメンバーに渡すための名刺作りをしてもらいました。



最後に、メインイベントでもあった巻物を作りました。長半紙に自分の好きな言葉を書いてもらい、巻物本体に貼り付けてもらいました。

効 果

アイスブレイクで行ったゲームでは、お互いをよく知らないため嘘か本当かなかなか見破ることが難しく、そのおかげで場が盛り上がり参加者同士の仲が良くなるきっかけに大変なったのではないかと見てとれました。また、名刺作りでは参加者の方のこだわりで個性豊かな名刺でお互いの連絡先を交換するなど、後の交流にもつながると感じました。メインの巻物作りでは、たくさんの和柄を用意し好みのものを選んでもらったので、参加者のみなさんも大変喜んでくださったようでした。

改 善 点

書道を体験してもらうという企画だったため、室内が大変静かな状態でした。何か、和を連想させ、かつ癒しのような音楽をかけるとさらに雰囲気はよくなったかもしれません。また、参加者の方が予定より少なかったにも関わらず、途中退出する方もいたためかなり少人数となってしまったのが残念でした。前日にはメールで当日の確認や、募集の時点で途中退出を遠慮してもらうように呼びかけるということを注意しようということになりました。また、去年は書道リレーというゲームでアクティブな要素もあったため、今年も静かな書道でも違った楽しみ方も提供すべきだったという反省点が見つかりました。

感 想

全体を通して、小規模な企画ではありましたが、後輩の企画に向けた準備もきちんとできており、巻物の質もかなりよかったですと思います。また当初の目的でもある日本文化の体験を真剣に取り組んでもらう環境作りや、その文化体験の中でも日本人学生と留学生の交流を促す名刺作りをするなど体験だけでなく参加者同士の交流も深めることができたのではないかと思います。